

令和4年度 岩手県立盛岡農業高等学校経営計画

校長： 島山 一弘

1 現状把握及び将来展望	生徒	保護者	地域住民	関係機関	
	(1) 学校に対するニーズ	①進路目標の実現 ②分かる授業の実践 ③学力の向上 ④技能・技術の習得と資格の取得 ⑤部活動の充実と環境整備	①進路希望の実現 ②部活動の活発化 ③基本的な生活習慣の定着(躰、マナー) ④授業及び実習を通しての人間形成	①地域産業及び農業担い手の育成 ②教育資源(人的・農場)の活用と情報提供	①専門性を活かした人材育成 ②高い規範と倫理観を持つ人材の育成 ③農業教育のセンタースクールとしての役割の遂行
	(2) パートナーとの関係	①学力、理解力及び目的意識向上の支援 ②生徒へ適切な支援	①教育活動への協力 ②相互理解と情報の共有 ③各種行事の連携とPTA活動の企画	①教育活動への協力と情報発信	①県農林水産部及び農業団体等の農業関係機関との連携
	(3) 学校に影響を与える変化	①産業構造の変化(6次産業化、ICT及びスマート農業の導入、製造現場等での人材不足) ②農業の持つ多面的機能への期待 ③少子化による中学校卒業予定者数の減少(定員の確保) ④生徒及び保護者の価値観の多様化			
2 校訓・教育目標	<p>【校是】「勸農晨起」 【校訓】「質実剛健」 「自治協同」</p> <p>【教育目標】 自然と向き合い命を育むことを基盤に据えた教育活動を通じて、生徒一人ひとりの心に豊かな人生の実現に繋がる真の強さと優しさを培う。</p>				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標		
		ア 確かな学力を育む教育実践と専門教育の魅力発信及び高大連携の推進	・授業理解への肯定的回答【80%】 (学校評価アンケート・生徒)		
		イ 豊かな人間性と生きる力を育成	・豊かな心を育む教育の肯定的回答【80%】 (学校評価アンケート・保護者)		
		ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実	・希望進路達成の割合【90%】		
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止	・相談対応への生徒の肯定的回答【80%】 (学校評価アンケート・生徒)		
		オ 共に学び、共に育つ生徒理解の推進	・学校生活への生徒の肯定的回答【80%】 (学校評価アンケート・生徒)		
	(2) 取組方針	<p>ア 確かな学力を育む教育実践と専門教育の魅力発信及び高大連携の推進 (ア) 分かる授業のための授業改善と、教員の授業力向上を推進する。 (イ) 課外・個別指導等の充実と、生徒の特性を把握した適切な学習支援体制の確立。 (ウ) 高大連携や研究機関等との連携による教育実践の推進を図る。 (エ) 専門教育の魅力の情報発信強化と体験入学の工夫を図る。</p> <p>イ 豊かな人間性と生きる力を育成 (ア) 「挨拶の励行」「時間厳守」等基本的な生活習慣や社会規範の確立を目指す。 (イ) 生徒会や農業クラブ活動等を推進し、コミュニケーション能力や心身の育成を図る。 (ウ) 農業を中心に地域産業を支える個性豊かで創造性に富む人材を育成する。</p> <p>ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実 (ア) 3年間を見通した指導計画の実践を進める。 (イ) 適性と目標実現のため能力を備えさせて、社会人としての生きる力を育てる。 (ウ) 特別専攻科教育を通して農業技術や経営能力の向上を図り、農業と地域社会に貢献できる担い手を育成する。</p> <p>エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止 (ア) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知に努める。 (イ) 保護者への丁寧な対応と連携を図る。</p> <p>オ 共に学び、共に育つ生徒理解の推進 (ア) 指導及び情報の共有化、早期の相談支援と組織的対応を図る。 (イ) 家庭及び中学校等の関係機関との連携による生徒理解を推進する。 (ウ) 寮教育を活用し、「居場所づくり」と「絆づくり」を推進し他者理解の支援を行う。</p>			